

### 製鐵産業の犠牲者

## 六、救援運動として

### 再生組合援助をなす

三月四日、再生組合代表者、長野正一氏外二名本部來訪生活現狀を訴へて援助を求めたる爲め五日の定例執行委員會に諮りたるに満場一致援助を決定し斯くて運動を起したので有る。

即ち從來製鐵所は業務上の傷害に依る不具廢失者にして尙勞働し得る者に職業教育を施して其の生活の一助たらしめて居たので有る、現に（八幡居住者のみにて再生組合なるものを組織して居る）が折角の職業教育も資力の弱いと、不具者故に能率が上らないこと、短期教育の爲に技術が充分で無いこと、等の爲に今日の激甚なる競争に伍して行き難く其の生活は非常に窮乏して居るので有る。其處で我が組合は此の尊き製鐵産業の犠牲者を救済すべく加藤組合長外七名の代表者を三月七日製鐵所に派して、一、西門附近及び大谷グラウンドの一部を露店用地として貸與の件、二、藤椅子の修繕をなさしむるの件、三、購買會内賣店の一部を無料貸與の件、等を交渉せしめたるに當局としても誠意をもつて之が實現に努力することとなり目下鋭意研究調査中である。

### 健保會議員選舉には

## 七、戸畑作業所の爲に

こふ云ふ働きをした

本年三月二十三日に施行された健康保險組合會議員選舉に際しては其の第一回に發表された選舉規約中、不備有るを發見した即ち選舉區が部又は課を單位として居る爲に戸畑作業所の如く小さく各部又は課に分割されて居る處に於ては當底一人の會議員を選出することすら絶對不可能で有るので我が組合は代表者を以て當局に交渉せしめた其の結果戸畑は部課を超越して獨立選舉區として取扱ふことになつたので有る。

### 我が組合の

## 八、雨乞祭参加

### 産業協力精神の發露

本年夏は製鐵所創立以來の大旱魃で遂に作業の一部を中止するの危機に直面し従業員も生活の不安を感じるに到つたので製鐵所は七月四、五、六の三日間血倉山上で雨乞祭を執行したので有つた、其處で我が組合も從來の勞働組合の様に「雨乞祭の科學的效果」を論じて居るが如き批判的な態度を捨て、先づ協力精神の實踐として加藤組合長を先

頭に峻峻血倉山上の雨乞祭に参加した。

### 建設途上の

## 九、メーデー闘争

愛國勞働祭、建國祭等の白色反動デモ粉砕の意味に於ても本年は是非とも八幡に於て果敢なるメーデー闘争を街頭に捲き起し度いと思つて居たので有るけれども、建設途上に在る我が組合の特種な事情と八幡の一般特種情勢に鑑みて四月二十三日の緊急委員會は討議の結果本年は獨自のデモを斷念して小倉に於ける九協主催のデモに参加し夜は大谷會館に於て記念座談會を開催することが決議されたので本年は止む無く八幡の陣地を放棄して遠く小倉の戦線から八幡の敵陣に向つて側面攻撃を行つたので有る。

### 其の概要

快晴に恵まれて午前十一時、小倉商業學校下廣場に集合

## 十、組合會議情報

昨年創立大會に於て、その主張、精神を同じうするものとし、尙健實なる勞働組合主義の下に我國組織勞働者三十万を擁する日本勞働組合會議に加盟することは、本組合の目的貫徹する實行力を強化するものなりといふ信念の下に

日本勞働組合會議加盟が決議された。

昭和八年九月二十三日、組合會議擴大執行委員會に於て本組合加盟が承認決定され、越えて二十四日第二回年度大會には、本組合より嶺主事出席す

過去一年内に於ける組合會議の活動は、左記會議記録に依り大勢を知る事が出来るが、其の主なるものを記述すれ